

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮原中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	【知識・技能】 ・既習事項(特に関数や基本文法)を場面に応じて適切に活用できる力。 ・デジタルツールを自ら活用し、自分の弱点を把握・補強する自己管理能力。 【思考・判断・表現】 ・複数の資料や文章から必要な情報を整理・解釈し、根拠を明確にして自分の考えを論理的に記述する力。 ・対話を通じて他者の視点を取り入れ、自分の考えを再構築・更新する力。
実施する学力向上策 【時期・頻度】	【ICTを活用した「思考の可視化」と「相互参照」の促進】 ○AIドリルやクラウド環境を活用した個別最適な学びの徹底 ・調査で課題が見られた数学(関数)・英語(読解・語彙)を中心に、個々の正答状況に応じた学び直しを促し、基礎の定着を図る。 ・スプレッドシート等の共有機能を活用し、記述問題の解答をクラス全体で共有。他者の根拠の示し方や表現を参考に、自分の記述をブラッシュアップする場面を全教科で設定する。【各単元で1回以上】 ○カリマネデザインマップを活用した教科等を横断した学習活動の充実 ・総合的な学習の時間を中核におき、各教科等の学習活動の充実を図る。【カリマネデザインマップを各学期1回以上研修等で活用】

⑤	年度末評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) ↓ 今年度の成果と 次年度の課題

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①調査結果の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告 ④学校全体での取組 ⑤単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ⑥調査問題を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) ↓ 学力向上策の 見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所